再就職でも起業でもなく…

「派遣」で働くという選択

再就職の求人を見ても自分のしたい仕事が見つからない。起業は、1人でやっていけるのか不安。今の会社で仕事を続けるのも気が重い。そんなとき選択肢に挙がるのが「派遣」だ。キャリアを生かし、好きなスタイルで働ける。

派遣で働くメリット

① 得意分野を生かせる

経理や営業、海外進出など、会社員人生で培った知識や技能をそのまま生かせる。中小・ベンチャー企業にノウハウを広める意味もある。

② 働き方を選べる

派遣先に常駐で働くのもいい。趣味を楽しみながら合間に働くのでもいい。「派遣」は個人事業なので、自分に合った働き方を選べる。

マッチング

クライアント企業にとってのメリット

① 必要なときだけ人材を活用できる

中小・ベンチャー企業の場合、すべての分野に社員をそろえているわけではない。必要なときだけ、人材を活用できる「派遣」は魅力。

② 新卒社員のコストでエキスパートを活用できる

企業が負担する派遣スタッフのコストは新入社員並み。それでいて経験豊かで、豊富な知識と技能を持ったエキスパートを活用できる。

派遣で働くとは？

サイエストが提供する派遣サービス、グローバル顧問の場合

仕事をするまでの流れは？

① 登録は無料、面談で経歴の棚卸し

まず「グローバル顧問」に登録。登録料無料、基本的に全員が登録できる。その後、スタッフが経歴や得意分野などについて直接ヒアリング。アピールポイントを整理する。

② クライアント企業とのマッチング

登録者の要望に合った「派遣」の案件を、サイエストが紹介。その後、クライアント企業との面談に進む。面談にはサイエストのスタッフも同席。合意すれば契約だ。

こんな人が派遣されている！

元大手メーカー海外営業部部長
➡青果卸売企業の海外事業を支援

海外販路開拓が専門。青果を扱ったことはなかったが、青果卸売企業のアジア進出を支援。香港、シンガポールでの取引を実現した。

元大手メーカー生産企画部部長
➡自動車部品メーカーの海外工場を支援

海外工場立ち上げ、運営・生産管理のエキスパート。自動車部品メーカーのベトナム工場でライン見直しなどに従事。生産効率を上げた。

仕事の中身、収入

登録者数3000人以上、大手企業出身の55～65歳が中心

1カ月に100人のペースで登録者が増えており、現在は約3000人の登録がある。8割は大手企業定年退職者で、55～65歳が中心。定年前から登録している人もいる。

継続的に仕事があるのは350人程度

登録者3000人のなかで、継続的に仕事があるのは350人程度。この点は「グローバル顧問」の課題。サイエストが登録者を集め、共同で起業する事業もある。

派遣先は中小メーカー、飲食店が多い

中小企業のなかでも多いのはメーカー、飲食店。メーカーだと商品のブランディングを支援する仕事、飲食店だと海外進出の支援などが実例にある。

収入は1日8時間稼働で5万円

「グローバル顧問」の場合、派遣料は決まっており、1日8時間稼働で10万円。このうち登録者がもらうのは5万円。どの登録者でも、どのクライアントでも同じ。

「会社員時代の知識と技能を生かして」といわれても、再就職の求人を見ると、マンション管理人や清掃、警備といった仕事ばかり。自分のキャリアは生かせそうにない。ならば、今の会社に再雇用されたほうがいいのかと考えてしまう。そこで検討したいのは、派遣スタッフとして働くという選択肢だ。

実は今、経験豊かな定年退職者を、派遣スタッフとして期待する中小企業やベンチャー企業が増えている。海外事業を展開するときや、自社商品のブランディングをするときなどに、社内のスタッフだけでは知識やスキルが足りないことがある。そんなときにピンポイントで退職者を活用するわけだ。

派遣スタッフといっても、一人ひとりは〝個人事業主〟のようなもの。仕事のスタイルは自分で選べる。クライアント企業は派遣する会社が探してくれる。いわば、クライアント探しのサポートがある〝起業〟のようなもの。起業して、1人でやっていくのは不安だという人には魅力だろう。

ただ、派遣会社に登録されたからといって必ず仕事が来るわけではない。「グローバル顧問」のサービスを展開するサイエストによると、仕事のあるなしの差は、「知識やスキルではなく人柄」だという。